

令和6年度 第2回

白石町まち・ひと・しごと創生推進会議議事録

日時：令和6年9月30日（月）19：00～21：10

場所：白石町役場 3階大会議室

1. 開会【進行：総合戦略課長】

2. 会長あいさつ

○会長

皆さんこんばんは。本日は大変お忙しい中、また昼間のお仕事等でお疲れの中に、今年度第2回目となります白石町まち・ひと・しごと創生推進会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。いよいよSAGA2024国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が近づいてまいりました。本町では、国スポではソフトボール成年男子、全障スポではグランドソフトボール競技が開催されます。多くの選手や観覧者においでいただきます。皆さんに満足していただけるよう、現在準備を進めているところでございます。また、これも皆さんご存知かと思いますが、天皇皇后両陛下におかれましては、10月5日から6日までの2日間、国スポご臨場のため、佐賀県へ行幸啓を賜ることになりました。本町にも10月6日にご昼食のためにお立ち寄りになれることは、この上ない光栄なことと深く感謝いたすところでございます。両陛下にとりまして、思い出深いものとなりますよう祈念し、町民を挙げてご来町の日をお待ちしているところでございます。

本日の会議でございますけれども、来年度からの第3期総合戦略で取り組む施策などについて、委員の皆様からご提出をいただきました検証結果を踏まえまして、各課で検討した内容をもとに協議をしていただきたいと思いますと思っております。また並行して人口の将来推計とシミュレーションを進めておりますのでこの状況を報告もさせていただきたいと思っております。本日の会議におきましても、資料がたくさんございますので、ご確認いただく時間を設けながら進めていきたいと思っております。どうか委員皆様の忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 報告事項

○総合戦略課長

続きまして、次第の3番目、報告事項でございます。まず(1)第1回会議録につきまして、資料1の会議録をご覧いただきたいと思います。こちらの方でございますけど

も、7月25日に開催いたしました会議の議事録ということになります。こちらの方は議事録でございますので、ご確認いただきまして修正点等ございましたら10月の中旬、10月18日を目途に事務局の方までご連絡いただきたいと思います。

続きまして、(2)第2期総合戦略の効果検証取りまとめ結果ということで、資料2の方をご覧いただきたいと思います。こちらの方の内容について事務局の方より説明いたします。

○白石創生推進係主事

私の方から第2期総合戦略の効果検証取りまとめ結果についてご説明します。まず、委員の皆様にはお仕事等お忙しい中、第2期総合戦略の事業評価等、効果検証シートの提出をしていただきありがとうございます。また、施策について41項目と多い中、評価をされた理由や意見をご記入いただきありがとうございます。それでは資料2ですね、第2期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証取りまとめ結果の見方について説明します。こちらの資料、前回会議の内部評価シートをベースとしております。今回、表の右側にある創生推進会議の評価という項目を前回の内部評価シートに加えております。まず左側、事業の評価についてですね。A KPI達成に有効であった。B KPI達成に有効であったとは言えない。C その他から選択していただき委員の皆様14人が選択された合計数を記載しております。KPIに関しては数値結果でわかりやすいものもあれば数値で表せないものもあり、評価するのが難しいといったことから、その場合はBを選択されているのご意見もありました。またKPI達成に有効であった、を選択された場合でも今後の更なる対策や改善策を記入していただいている項目もありました貴重なご意見をありがとうございます。参考までに41施策中、Aが多いものは38項目、Bが多いものは3項目でした。次に右側主な意見等についてですね、事業の評価、ABCを選択された理由や自由意見を記入いただいたものを記載しております。

それではまず1ページ目ですね。2つある政策どちらもB評価が多い結果となっております。企業誘致や起業に至るまでは時間を要する。用地を必要とする従来型の企業誘致にこだわらず、既存施設の活用を想定した企業にもオファーできたら良い。との意見がありました。

次に2ページをお願いいたします。こちらのページは全てAが多い評価となっておりますが意見として、新規就農者の成功例を作ることが必要。人手不足による外国人雇用に傾いてきていると感じる。との意見がありました。

次に3ページをお願いいたします。こちらのページは全てAが多い評価となっております。意見としては、創業者の追跡調査の必要性や、農産物の情報宣伝販路拡大が今後課題と考える。との意見がありました。

次に4ページをお願いいたします。こちらのページは全てAが多い評価となっております。意見として高校の「探究時間」との連携強化。継続していくことで、他地区の若者に白石町の良さが伝わり、若者の定着や町外からの移住に期待が持てる。子供の頃の体験が郷土への愛着に繋がると思うので、郷土料理の調理体験などは、小中

学校などで積極的に実施した方が良いと思う。との意見がありました。

次に5ページをお願いいたします。こちらのページは全てAが多い評価となっております。意見として観光協会立ち上げに合わせ、県内他市町、近隣県、都市部、海外などターゲットを明確にした上で、PRの方法を分けることも必要。また有効的な発信方法を見つけることが必要。継続していくことで、若者の地元定着が進むと思われる。との意見がありました。

続きまして6ページをお願いいたします。こちらのページも全てAが多い評価となっております。意見として、数値目標の達成および事業の継続で進展が期待できる。目標達成しているものの、現実には空き家が増えていると感じる。移住の魅力環境を整えることが必要。JR通勤通学の利便性向上のためにはパークアンドライドの促進、駅を起点とした循環バス等の充実を図る必要がある。また、KPIが高すぎるのではとの意見がありました。

続きまして7ページをお願いいたします。こちらのページでは施策(3)交通手段の拡充についてはB評価となり、他の政策についてはA評価となっております。交通手段の拡充については、シェアサイクル事業者の撤退があったためとなっております。他の意見としては継続することで観光資源のブラッシュアップができるのでは、須古城の取組は良いPRになった、などの意見がありました。

次に8ページをお願いいたします。こちらのページでは2つの施策ともAが多い評価となっております。意見としてもっと男女の交流の機会を増やせば、合コンみたいに気軽に参加できる機会があれば。継続していくことで、若者の地元への定着が進むと思われる。補助金要件の年齢は撤廃してもいいのでは。などの意見がありました。

次に9ページをお願いいたします。こちらのページの2つの政策ともAが多い評価となっております。子育て環境の支援は必要。子育て環境の支援を行うことで、若者の定着や移住が図れると思う。との意見がありました。

続きまして10ページをお願いいたします。こちらのページでは全てAが多い評価となっております。意見として子育て環境の支援を行うことで、若者の定着や移住が図れると思う。遊具など綺麗になっていたのもとても遊びやすいと思った。トイレの清潔さの維持、トイレが汚い公園には人は来ない。主要な公園施設の整備だけではなく、公民館敷地の遊具整備取組が必要。との意見がありました。

次に11ページをお願いいたします。こちらのページの2施策についてもAが多い評価となっております。意見として、教育環境は若い子育て世代では最重要項目で、魅力的な教育環境整備は定住者の増に有効手段だと思う。との意見がありました。

続きまして12ページをお願いいたします。こちらの2施策についてはAが多い評価となっております。意見として、協議会の継続には活動交付金の増額が必要。なかなか地域づくり協議会の設立に繋がらないのはなぜか分析が必要。との意見がありました。

続きまして13ページをお願いいたします。こちらのページについては2施策ともAが多い評価となっております。意見としては、地域づくり協議会との連携が必要。組織作りを並行して個人への防災知識講座などを行い各個人の意識を高めてほしい。との意見がありました。

次 14 ページをお願いします。こちらのページについては全て A が多い評価となっております。意見として、高齢者と現役世代との共同活動の機会増が必要。との意見がありました。

次に資料最後のページをお願いします。こちらのページは総評についてとなっております。総合戦略全体を通しての自由意見です。また第 3 期総合戦略に向けての参考意見も記入していただいております。こちら内容としては、住宅、教育、DX 化、男女共同参画といった幅幅広い意見のご記入をいただいております。ありがとうございます。資料全体に関して後ほどご確認いただければと思います。第 2 期総合戦略の効果検証取りまとめ結果についての説明は以上となります。

○総合戦略課長

とりまとめ結果については以上でございますけれども、非常に皆様方から評価、また貴重なご意見いただいております。その結果を反映ということになっておりますが、私達行政側も、今後の事業の十分参考にさせていただきたいと思っているところです。

4. 協議事項について

○総合戦略課長

それではここから協議事項ということになります。次第 4 協議事項の方に入らせていただきます。ここからは会長に会議の議長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○会長

それでは協議事項のところの進行については私の方で務めさせていただきます。早速協議事項(1)人口ビジョンの改定作業について、に入ります。お手元に人口ビジョンをお配りしております。これは令和 2 年 3 月に改定したものでございまして、この人口ビジョンの改定作業を現在行っております。現在の状況報告を兼ねて、事務局の方から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

資料 3 の人口ビジョンの改定作業について、でございます。あと参考としまして、お配りしております「白石町人口ビジョン令和 2 年 3 月改訂版」も併せてご覧いただければと思います。説明につきましては、資料 3 に沿ってさせていただきたいと思えます。今回の人口ビジョンの改定作業につきましては、約 5 年ぶりとなります。第 3 期総合戦略の策定とあわせて、人口ビジョンも並行して改定作業を行っております。資料 3 の 1、人口推計でございます。まず期間です。2025 年から 2065 年までの 40 年とします。現行ビジョンの方も 2065 年までとなっております。次に推計のエリアですけど、町全体、それから現在の小学校区単位としております。続きまして、推計の方法です。推進方法はコーホート変化率法という方法で行います。これは、過去における実績人口の動態から変化率を求めて、それに基づき将来人口推計する方法です。コ

一ホート変化率法は小規模地域の推計に最適と言われております。ちなみに社人研(国立社会保障・人口問題研究所)や日本創成会議では、コーホート要因法が用いられております。今回の算出方法を具体的に申しますと、2019年から2024年のコーホート変化率を算出した上で、2020年の人口と掛け合わせて、2025年の人口を算出します。これは現行の人口ビジョンが2025年、2030年といった5年単位で推計しておりますので今回の推計の年の対応を合わせるためこういった手法を用いています。最後にデータは住民基本台帳データとします。現行のビジョンは国勢調査のデータとなっております。国勢調査は、令和2年のデータが現在最新となっております。次は令和7年に実施されます。そういったことから最新の住民基本台帳データを用いております。なお、国勢調査と住基台帳では、特に大学生の世代に開きが出る傾向にあります。

続きまして2番目のシミュレーションです。条件1として、0歳から64歳の流入促進、または流出阻止が毎年100人実現、毎年100人を取り戻すとしております。現在本町の人口は、毎年300数十人ずつ減少しております。この減少を100人取り戻すということになります。現在の状況でいくと、毎年300数十人の人口減少を200数十人の減少にすることが目標となってきます。この100人の内訳につきましては、資料の通りとなります。それから条件2として、合計特殊出生率は現状と同じとしております。これは、現在の出生率を将来推計でも用いるということです。なお、資料には記載していませんが、今回の推計においては学校再編に伴う影響は加味しておりません。それでは1枚めくっていただきまして、左1ページの方が白石町全体の現状推移、右の2ページの方がシミュレーション版となっております。左の図1のところを見ていただきますと、2025年で人口2万781人、高齢化率38%。それから右に行きまして、2065年で8014人、高齢化率50%の予測が出ています。それから右の方いきましてシミュレーション版となります。毎年0歳から64歳までの100人を取り戻した場合となります。ここを見ていただきますと、一番右側の2065年で1万1791人、高齢化率が43%となります。それでは次のページをご覧ください。3ページと4ページにつきましては白石小学校区の人口推計となっております。白石小学校区の方は比較的なだらかな人口減少となっており、シミュレーションでは横ばいの予測が出ております。これと対比し対照的なところが、7ページと8ページをご覧ください。7ページ8ページは須古小学校区となります。ここご覧の通りかなり人口減少が進み、高齢化率も高くなっております。また、小学校区ごとに現在の人口減少で減っていった場合の現状推移版と、100人を取り戻した場合のシミュレーション版ということで添付しております。詳細につきましては後ほどご覧いただきたいと思います。簡単ですけれども、説明の方を終わります。

○会長

それでは、ただいまの説明についてご質問等をお受けしたいと思います。どなたかご質問ございませんでしょうか？

○委員

資料の説明資料の説明で、例えば全体でもいいのですが、図2のコーホート変化率

の見方についてもう少し詳しく教えていただけないでしょうか？

○白石創生推進係長

コーホート変化率につきましては、5年間の人口の減少率を5歳階級ごとに算出し、その変化率を将来にわたってかけていくといった方法となります。

○会長

他にございませんか。

○委員

先ほどの委員の意見に関係するのですが、100人を足すっていうのはどの年齢層に足しているのか気になります。

○白石創生推進係長

100人の内訳ですが、0歳から64歳までの現在の人口比で案分して振り分けております。

○委員

はい、ありがとうございます。その100人っていうのは、例えば六角小学校区、白石小学校区など全部100を加えるということでしょうか。

○白石創生推進係長

失礼しました。小学校区ごとの内訳は、この資料3の1枚目の紙ですね。白石小学校区でいきますと100人のうち14.5人となります。

○会長

他にないでしょうか。では次に(2)第3期(令和7～10年度)総合戦略の策定シートについて、に入りたいと思います。まず第3期の期間でございますけども、前回の会議で事務局の方から説明をしておりましたように、令和7年度から10年度までの4年間ということで考えております。まずこのことについて、繰り返しになりますけども、事務局の方から説明をお願いします。

○白石創生推進係長

先ほどありましたとおり、第3期総合戦略の期間を令和7年度から10年度までの4年間ということで考えております。現在の第2期総合戦略が令和2年度から6年度までの5年間となっております、今回4年間ということでございますが、国の総合戦略の方が9年度までとなっております。国の期間と合わせた方がわかりやすいという考えもありますけれども、今後令和10年度以降の国の方針が出されたときに、それを町の総合戦略に落とし込む期間が1年程度あった方が良いのではということで、1年ずらして令和10年度までとしたいというふうに考えております。ただ今後、総裁が変わられたこともありまして、国の動きを見ながら柔軟に対応していきたいと思っております。以上です。

○会長

ただいま説明ございましたように、国の計画期間である9年度までに合わせた形で、1年延ばした7年度から10年度までの4年間ということでございます。このことについて皆さん方から何か異議等あればお願いしたいと思います。よろしいですか。それでは、白石町の計画は4年間ということで進めたいと思います。よろしくお願いいたします。それからこの計画の名称については、今回の会議ではなく、次回検討よていとのことでございますので、次回お願いをしたいと思います。それでは第3期総合戦略の策定シートの協議について入っていききたいと思います。まず1ページから始めていききたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

続きまして資料4についてご説明いたします。資料4、第3期総合戦略策定シートについてです。まず初めに総合戦略を策定するにあたっての考え方として、国の総合戦略に基づくこととしております。国では全国どこでも、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向け、デジタル技術の活用によって地域の個性を生かしながら、地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化、深化することとしています。この構想の実現を図るために、国においては令和4年12月23日に第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改定し、令和5年度を初年度とする5か年のデジタル田園都市国家構想総合戦略を新たに策定しました。地方においては、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の総合戦略を勘案し地方版総合戦略を策定するよう努めなければならないこととされております。国の総合戦略における施策の方向として、地方の社会課題解決・魅力向上として、まず4つの基本目標ですね。1. 地方に仕事をつくる。2. 人の流れをつくる。3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる。4. 魅力的な地域をつくる。こととしております。

このことを踏まえまして、本町の第3期総合戦略の基本目標、この1ページでいくところの基本目標1ですね。国では地方に仕事をつくる、としていますが、第3期では「白石に仕事をつくる」と検討しております。2. 人の流れをつくる、3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、4. 魅力的な地域をつくる、とするよう検討しております。具体的な施策、KPIについては委員の皆様と見直しをしていきたいと思ひます。

この資料の4ですが、ページの左側は現行の第2期総合戦略を記載しております。右側は第3期総合戦略策定に向けて各関係課に照会をし、とりまとめたものを記載しております。黒字については第2期総合戦略同様に引き続き推進していくもの、赤字については文言や表現を見直したもの、新たに追加したものとしております。まず右側基本目標①白石に仕事をつくる。ここをまず検討しております。このページのKPIが、地域おこし協力隊の隊員採用数が4年間で5人。続きまして出店数が4年間で2店。企業の誘致が4年間で2社。このページでは、(1)域活性化の仕事へのチャレンジ支援を新たに付け加えました。施策の内容としては、地域おこし支援や地域協力活動を行う地域おこし協力隊を受け入れていきます。実施事業としては、令和7年度：地域おこし協力隊募集・採用、令和8～10年度：地域おこし協力隊活動支援としております。(2)に関しましては、第2期では働く人たちに優しい空間づくり、でしたが「優しい」という文言を削除しました。施策の内容としては同様に行ってまいりま

す。(3)は少し言葉を変え、企業誘致の推進としました。第2期では企業誘致するための候補地の確保としていましたが、第3期では、候補地の確保も含んだ企業誘致の推進としました。県と連携を図りながら、初期投資や運営面での支援策、便利な交通アクセス、災害の少なさなど本町の強みを生かして企業誘致を積極的に推進することとしています。実施事業としては、白石町に適応した企業を誘致するため、業種の研究・情報収集を行い、白石町企業立地の促進に関する条例における優遇制度を活用した誘致検討を行います。このページに関しては私の説明は以上になります。

○会長

今日は各課課長も出席をしております。ただいま1ページについて説明がございましたけども、担当課長の方から説明があればお願いします。

それでは委員の皆様からご意見、ご質問をお受けしたいと思います。本日の資料はたたき台ということで、わかりにくいところや、こういったKPIがあった方がいいとか、こういった分野もあった方がいいのではないかとか、もう何でも結構ですので冒頭申し上げましたように来た旨ご意見を出していただければと思います。よろしくお願いします。どなたかご意見、ご質問等ございませんでしょうか？

○委員

地域おこし協力隊は募集のときにテーマを絞って募集されることもあるかなと思うのですが、どんな人材を募集されたいっていうのは今のところありますか？

○総合戦略課長

今現在内部検討中でございます。総合戦略課といたしましては、やはり今地域づくり協議会の設立準備を行っておりますので、まず地域づくり系。それと当然観光協会ができますので、観光系。それとスポーツ系を考えております。その他ですね、実はこれ佐賀県知事も肝いりの事業になっています。今まではですね、地域に活力を与えるために地域おこし協力隊を活用しようというようなスタンスでしたが、今後は定住移住に直接的に繋がるという意味も含め、若干のボリューム感を持って佐賀県内に人口を誘導しようというような動きがございますので、そういったところにも他分野で活用してまいりたいと思っております。以上でございます。

○会長

また最後の方でも時間をとりたいと思いますので、何かあればまた後で出させていただきます。それでは先に進みたいと思います。次は2ページでございます。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標①の2、「新規就農者及び農業後継者の育成・確保」についてとなっております。こちらのページはほぼ第2期からそのまま第3期の方に引き継ぎ推進していくこととしました。右ページ施策の(1)のみ赤字で記載していますが、第2期で新規就農者確保対策協議会だった部分が、第3期では白石町農業技術連絡協議会に変わっています。以下は第2期と同様です。このページの施策3つに関しましても、KPIはその

まま引き続き、新規農業従事者が4年間で80人、しろいし農業塾卒業者の農業従事者数が4年間で12人、農業従事者(被雇用者)が4年間で5人としています。簡単ではございますが、こちらのページに関しては以上となります。

○会長

担当課長の方から何か補足説明はありますか。それでは委員皆様からご質問ご意見等をお受けしたいと思います。

○委員

前のページも一緒でしたが、資料2の創生推進会議の評価で、評価についてKPIが有効であったとか、有効でなかったとかその他っていうふうな資料が取りまとめてあり、それに対しての意見等がありますが、そのあたりを与してこの資料等は作られているのかなと思っています。その辺についてのご意見をちょっと聞かせていただけたらと思っています。

○農業振興課長

ご指摘の通り、検証結果を受けまして今後の見通し等も立てて、この戦略については、見直しを行ったというところでございます。

○委員

少し具体的な、例えば(3)で何か少し変えられたとか、逆にいろいろあるけどそのまま進められているとか、そういうふうな具体的な事例がありましたらお願いいたします。

○農業振興課長

(3)についてはKPIの方のみ見直しを行っているところですが、令和5年度の実績で1名だったということで、この農の雇用の事業につきましては、市町村県等が参加する佐賀県農業会議所というところが、農の雇用事業を行っております。そこで町からも紹介することもあります、昨年度の実績を考慮してKPIは減らしているというところがございます。

○会長

それでは3ページの説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

続きまして3ページ基本目標①の3、「新しいことへ挑戦する人への積極支援」です。こちらのページのKPIですが、企業・創業者数を4年間で20人、「なたね(ナナシキブ)」の面積拡大を、令和6年度の8ヘクタールから令和10年度までに20ヘクタールとしております。具体的な施策としましては、施策(1)、こちらに関しては第2期から引き続き白石町創業者支援制度を引き続き行ってまいります。施策(2)では、第2期では総合戦略課の方で地方創生の起業支援金で起業を支援するという部分ですけれども、ここは第3期では(1)に統合することとしております。これは起業支援金が県の事

業ということで、申請等の窓口業務が総合戦略課の方でありませので、第3期では統合することとしました。施策(2)ブランド化農産物の作付け拡大に関しては、「璃の香」について今後生産量の増加が予想されるため、販路拡大に向けた取組を実施していきます。また、菜種油の原料となる「なたね(ナナシキブ)」について作付拡大を図り、白石町産だけで搾油ができる面積拡大を目指します。この2品種をブランド化農産物と位置付け、推進を行っていきます。実施事業としては国庫事業等を活用し、「璃の香」を原材料とした加工品の研究、新たな販路の開拓に向けた商談会への参加、「なたね(ナナシキブ)」の作付拡大に向けた支援としております。3番目の施策、商工業者などへの支援については第2期から引き続き、推進することとしております。

○会長

ただいま3ページの説明でした。このことについて何かご質問ご意見ありましたらお願いします。次4ページに入ります。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標①の4、「ふるさとで活躍する人材の育成」になります。KPIに関しましては、企業・CSO・町等と学校が連携する取組の数を、4年間で20回としております。これは第2期のKPIにCSOという言葉を加えております。実施する施策としては、(1)“ふるさと学”の推進。こちらに関しては第2期から同様に引き続き推進を行ってまいります。(2)地元定着の促進。施策名は同様ですが、内容を変更しました。大学高等学校及び企業等と連携し、若年者の地元定着、郷土愛の醸成、起業意欲の醸成を図る取組を行います。実施事業としては、若年者地元定着促進事業、白石高校および佐賀農業高校との連携。白石高校については地域連携の実施ですね、総合的な探究の時間、佐賀農業高校に関してはサノボヌール、サノンマルシェの実施、放課後起業クラブの事業となっております。

○会長

それではご質疑、ご意見ありませんでしょうか？はい。

○委員

今回、KPIの方でCSOを付け加えられたということですが、具体的にどういうふうなCSOあたりを考えたおられるか教えていただけたらと思います。

○白石創生推進係長

これまでも企業等の「等」という部分にCSOは含まれていました。これまでCSOとの連携した活動が多かったもので、企業・CSO・町等と表記しています。具体的には白石高校の方とさせていただいています地域づくり協議会やさくらむすび、SHIROISHI Innovation Lab等がCSOというところになるかなと思っております。

○会長

それでは次5ページの方に行きたいと思います。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標②に入ります。基本目標②は、「ひとの流れをつくる」としております。1. 白石町の魅力発信ですね。こちらのページの KPI に関しては、新規で作った KPI が多いです。まず道の駅来場者数を、令和 5 年度の年間 76 万人を、令和 10 年度には年間 100 万人とする。2 つ目の KPI、町外催事への参加回数を、令和 5 年度の 5 回を令和 10 年度には 10 回とする。3 つ目の KPI、町公式 LINE 登録者数を、令和 5 年度末の 800 人を令和 10 年度末には 2,000 人にする。4 つ目の KPI、在京ふるさと会 SNS 会員数を令和 10 年度に 300 人としております。具体的な施策としまして(1)道の駅運営支援。こちらは第 2 期から引き続き行います。実施事業として、令和 10 年度に開業 10 周年を迎える「道の駅しろいし」の PR 企画等を考えられております。(2)特産物等に関する情報発信。特産物等の情報発信を通じて町を知ってもらい、ファンの確保や交流・移住人口に繋がる町の PR 活動を行います。町外催事イベントへの参加による特産物の PR 活動や、SNS を活用した町特産物 PR キャラクター「しろいしみのりちゃん」による町の PR 活動としております。(3)町民に向けた町の魅力発信ですね、広報戦略に基づき、町公式 LINE 等 SNS により、町民に向けて本町のブランドメッセージやブランドロゴ等を使い町の魅力や情報発信することにより、シビックプライドの醸成を行い町民に町への愛着や誇りを感じていただくことで転出者の減少を図ります。実施事業として、LINE 等 SNS による町民に対する情報発信の充実としております。(4)在京ふるさと会との連携強化。こちらは第 2 期に(3)関係人口の拡大とありましたが、ピンポイントで在京ふるさと会を施策に挙げております。本町の出身者などと継続的に関わっていき、町の魅力発信や都市部との交流などに繋がる取組を行います。実施事業として、在京ふるさと会等との交流とします。

○会長

補足説明はありますか。

○総務課長

広報情報係です。第 3 期の方で、KPI に町の公式 LINE の登録者数の増を掲げております。令和 5 年度末で 800 人であったものを、10 年度末までに 2,000 人まで拡充しようということ考えているところです。第 2 期で計画を上げておりましたが、がばいよかとか発信事業では、SNS 等を活用しながら情報発信を行った結果、ホームページアクセス数も一定程度増加をしております。またテレビ、ラジオ等を使用して情報発信をしましたので、視聴者からも問い合わせ等は多く寄せられており、一定の効果があったと考えているところです。しかしながら、似通った内容のことを各々の課で行っているように感じる場面がございましたので、情報発信については目的やターゲットを明確にしながら、効率的に行う方がいいのではないかと考えているところです。そういうことで、今年度総務課広報情報係といたしましては、広報戦略を策定する計画にしております。町民や町外向けに白石町の魅力や施策、事業などを効果的に伝えるために、ターゲットや目的、役割を明確化したいと考えております。その中で総務課広報情報係としましては、町民に向けたまちの魅力の発信を強化したいということで

今回新しく KPI を上げさせていただきます。町の公式の LINE につきましては、今年度入ってから、プッシュ型と申しますか、各担当課の事業をもっと知ってもらうために、やはり押し売りもする必要があるのではないかとということで、積極的に LINE で主だった事業について発信をしている状況でございます。そういうものを利用しながら、白石町の魅力を白石町民自体に理解をしていただけるように頑張っていきたいと思っていますところです。そういうところで新しい KPI ということで、第 2 期の KPI であった町ホームページアクセス数から、町公式 LINE の登録者数の増としました。

○会長

ご質疑、ご意見ございませんでしょうか？

○委員

町外催事イベントへの参加による特産物の PR 活動ということですが、町外というのは県内なのか、県外なのか具体的にイメージされているのかを聞きたいです。

○商工観光課長

今後の計画といたしましては、これまでも行ってまいりましたが、町の特産物などの PR 事業ということで、首都圏、主に東京都、横浜などでの首都圏での PR 事業ですね。玉ねぎ、レンコン、イチゴをメインとして毎年物販等を行ってきております。その辺についても今後も続けていきたいと思っております。また、天神や博多駅周辺での PR 事業なども計画していきたいと思っています。実際天神などでも毎年実施をしているところでございます。基本的には首都圏、関西圏、そして福岡市というところをですね基本に町外の催事というところでは考えています。

○委員

ありがとうございます。そうしましたら令和 5 年度の 5 回は全て県外、首都圏、関西圏の回数と思っていいますか。

○商工観光課長

はい。

○委員

町外だけど県内、例えば佐賀市内でのイベント等、白石町以外の県内の自治体での催事はここの数字には出てきてない。

○商工観光課長

ここの 5 回については、首都圏が 3 回、福岡市が 1 回、佐賀空港のスイートコーン販売会が 1 回です。

○会長

それでは先に行きたいと思います。6 ページの説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標②の2、定住促進、移住支援です。まず、KPIは、第2期から引き続き空き家・空き地バンク登録件数を4年間で60件。第3期では新たに浄化槽設置数をKPIに設定し、4年間で180基です。移住・定住者数は担当する係が2つありますので、現段階では2つに分けております。Dの移住・定住者数はずっと住まいる応援事業で住宅の新築や建売中古住宅を購入された方等を支援することによる移住・定住者数で、4年間で400人としました。Eの移住・定住者数は東京圏や佐賀県外からの移住支援金を活用された移住・定住者数で、4年間で50人と設定しております。具体的な施策としましては、(1)空き家・空き地バンクを活用した支援というところで、第2期ではお試し移住を入れていましたが、第3期では削除しています。空き家・空き地バンク制度を継続し、移住・定住の促進、空き家の有効利用を図ります。(2)～(4)に関しては、第2期から引き続き同様に推進することとしております。

○会長

それではただいまの説明についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○委員

浄化数の設定数が4年間で180基というのはわかるのですが、重点期間が設けられていたと思います。その辺との整合性は大丈夫かどうかということをお聞きしたいと思います。

○生活環境課長

この浄化槽に関して、現在浄化槽を設置する場合、白石町には下水道エリアと浄化槽設置区域エリアの2つがあります。浄化槽設置区域エリア内で設置する場合においては補助金を交付しています。この補助金については、本来の国の補助基準額がございしますが、従来白石町では水洗化率が悪いと、町で上乗せ補助を行ってまいりました。国は水洗化率の向上ということで令和5年から令和8年まで重点推進期間として汲み取り便槽と単独浄化槽から合併浄化槽に切り替えをする場合、新築を除いてですが、その場合は宅内配管の補助と便槽、また単独浄化槽の撤去に対して補助の拡充が始まりましたので、白石町でもその国の補助制度を利用して、令和5年度から令和8年度までの期間ではありますが、補助の拡充を行っています。この個人設置数が前回は5年間で300基に対し、第3期では4年間で180基としています。少なくなったように感じると思いますが、ここ数年間では年間40基程度の申請でしたので、それにプラスアルファで180基としました。

○会長

7ページの説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標②の3、地域観光資源の再発見です。KPIとして、観光入込客数を、令和6年度の年間893,000人から令和10年度には年間1,071,000人としております。BのKPIに関しては、第3期から新しく設置しました。歴史関連講座開催数・参加者数です。歴史関連講座開催数を年間15回、参加者数を年間400人と設定してまいります。第

2期の観光ルート数は撤廃し、第3期では、町ホームページ内観光サイトへのアクセス数を新設しています。令和6年度の年間60,000件を、令和10年度には年間72,000件としております。具体的な施策として(1)地域資源の魅力の再発見。地域資源の魅力の再発見及び磨き上げにより、誘客効果を高め、消費促進と認知度向上を図ります。専門家の招請による地域資源の新たな価値の創出、地域資源のブランディング支援としております。(2)文化財の再発見。こちらは内容が変わっておりまして、須古城跡の国史跡指定に向けた取組を行います。「遺跡」を観光資源として活用できるよう整備を図ります。実施事業としましては、須古城跡の国史跡化に向けて令和7年度から10年度にかけて、各環境整備や各調査、指定に向けた申請書の提出等の計画をしております。歴史関連講座の開催については、須古城跡や町内の遺跡をテーマに、現地説明会や出土品と展示案内を取り入れた講座を開催するとしております。(3)交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)。町内を訪れた観光客が、手軽に町内を観光できるような環境を整備します。実施事業としては、予約制観光タクシー等の導入、観光客向けの交通手段の検討としております。(4)中長期的な観光戦略の策定。こちらは第2期の4番目の施策の文言を変えております。しろいし町観光協会と密に連携しながら、町の観光振興の基本となる計画を策定し、白石町の認知度の向上と観光を通じた地域活性化に取り組みます。実施事業として、白石町観光振興基本計画の更改(第2次白石町観光振興基本計画の策定)の検討、町ホームページ内の観光サイト運営や町SNSの活用による情報発信としております。

○会長

それではただいまの説明について、ご質問ご意見等お願いします。

○委員

ホームページ観光サイトの運営についてなんですけれども、いろいろな観光地がある中で、観光サイトを見ていただいて白石町に来ていただくっていうからには、かなりの魅力内容とか写真等、魅力があるものが必要になるかなと思いますが、その辺に對しての準備やお考えというのを具体的にお話いただければと思います。

○商工観光課長

町のホームページ内の観光サイトという部分も、現行のものから見直しをしていながらやっていきたいと思っています。また、観光協会をしろいし町観光協会という名称で今年度立ち上げる予定でございます。そして観光協会の方でホームページ観光を中心としたサイト運営をやっていきますので、行政の方と観光協会の方で役割を分けながら、魅力あるホームページを運営していきたいと思っています。魅力ある、というのも口では簡単に言いますが、データを基にある程度ニーズを絞り、SNSもしっかりと活用しながら戦略的に白石町の情報発信をやっていきたいということで現在検討をしているところです。

○委員

それではこれから観光協会と改めて作り直していかれるということで。

○商工観光課長

観光協会の立ち上げを年内に、観光協会の方のホームページの作成と合わせて白石町のホームページの観光ページも見直しをかけていきたいと思っております。

○委員

お尋ねした理由が、10年以上前だと思いますが、以前ホームページ作成の際、写真素材がなかったということで、私のフェイスブックから写真を使っていいですかということで連絡が来て、何かお役に立てるのであれば使ってくださいとお伝えをしました。私は学習塾をしているのですが、結果そのCMになるくらい使っていただきました。それはイコール素材がなかったのだと思います。直接は聞いていませんが、想像するに、白石町へのお尋ねがあったけれど素材がなかったのではないのでしょうか。年間として魅力のある写真を意識して撮り溜めていただいていたいただきたいなというお願いです。よろしくお願いいたします。

○商工観光課長

ご意見ありがとうございます。移住・定住の関係になりますと、また担当も分けながら取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございます。

○会長

次のページに行きます。8ページです。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

こちらのページから基本目標③になります。結婚・出産・子育ての希望かなえとしております。ここの部分も、第3期では国に合わせた文言と検討しております。1. 結婚推進対策の充実。こちらのページのKPIに関して、まず追加したのが、婚活イベントの実施回数を4年間で40回と設定しております。また、第2期で成婚数としていた表現を、支援組数としました。新婚世帯に支援をする制度ですが、成婚数という表現では婚姻届を提出された数と誤解しますので、実際申請をされ、この支援を受けられた組数と表現を変えております。施策としては、(1)婚活サポート事業の拡充、(2)結婚新生活支援、で、内容に関しては第2期から引き続き推進を行っていくところとしております。

○会長

それはこの事についてご質問、ご意見ございましたらお願いします。

○委員

農協青年部で婚活のイベントを独自で毎年やっているのですが、県の方からこの補助が出るっていう話をちょっと聞いたことがあります。そういうのは町も一緒になって申請を白石町の方にすれば、青年部の方でもそれが使えるっていうことでしょうか？

○白石創生推進係長

はい、県のさが未来アシスト事業という事業があります。そういった JA の青年部や、まちづくり団体が実施主体となつてする活動に支援をするものです。ですので、また今後、実施される場合はぜひ活用していただきたいと思いますので、もし早めに計画を決められて町にご相談いただければ、県の方に相談したいと思います。

○会長

それでは次 9 ページに行きたいと思います。

○白石創生推進係

はい、基本目標③の 2、出産支援となっております。こちらのページの KPI につきましては第 2 期が合計特殊出生率としておりましたが、第 3 期では出生数と検討しております。数値に関してはですね人口ビジョン等を勘案しながらもちょっと数値を今検討中でございまして、一応今日の段階では数値は載せておりません。また、施策に関して、不妊治療制度の拡充については、令和 4 年度から不妊治療が保険適用の治療となり、令和 6 年度の白石町への申請件数が大幅に減少しているため事業の廃止を検討しています。(2)多子世帯への助成については、第 2 期から引き続き行います。そして第 3 期で新たに追加するのが、(3)育児支援券のプレゼントです。子育てを応援しているという町の気持ちを、ギフト券プレゼントすることで伝えていきます。こちらは令和 5 年度から実施しており、出産後の乳児全戸家庭訪問時に育児支援券をプレゼントします。育児支援券は育児用品に限定して、欲しいもの・必要なものが購入でき、高額な商品代金の一部に使用することが可能です。

○会長

それではご質問、ご意見ありましたらお願いします。私から、検討中の KPI は、次回には示すということですか。

○保健福祉課長

前回の第 2 期では、KPI に合計特殊出生率を挙げておりました。新聞等でありましたが、東京の合計特殊出生率が 1.0 を割り込み、全国的に出生率もかなり低下をしてくております。そういったことで、このまち・ひと・しごと創生総合戦略が活用できるとは思っておりますが、合計特殊出生率は年度によってかなり上下をいたします。なおかつ定期的な統計の数字がなかなか出てこないということもあり、第 3 期においては、出産・子育て支援ということならば、出生数を KPI としてあげるのが妥当ではないかということで今回挙げさせていただいております。実際の数値目標といたしましては、人口ビジョン等でも人口が減少するという流れになってきておりますので、高ければ現状維持、もしくは人口ビジョンも若干高い数字を出生数の目標として持つていければなというふうに考えております。

○会長

他ございませんかね。

○委員

育児支援券とはいくら分ぐらいですか。ちょっと気になったもので。

○保健福祉課長

すみません、少ないですけども 4,000 円です。申し訳ないです。

○会長

他ございませんか。

○委員

これは出生数を増やすための施策ということでよろしかったでしょうか？育児支援金を大体 4,000 円ぐらいお渡しをするので、もう 1 人いかがですかというちょっとダイレクトすぎませんか。

○会長

そうですね、4,000 円のギフト券で子供をもう 1 人、とは思わないと思います。あくまでも我々町は出産された子供が増えたということに対して、もうおめでとう。我々もちゃんと把握していますよ、見ていますよというふうな意味を込めて発送しております。以上です。

○委員

応援しているという気持ちということでギフト券、ということで伺いましたが、何があったら本当に気持ちが伝わるかなと思ったときに、メッセージとか、何かギフト券だけではなくて、訪問時ってということですのでお言葉もあるのだと思いますが、そういう何かプラスで伝えていただけるものがあると、仕事柄たくさんのお母様方と一緒に関わっていることがありますので、そういうところもプラスでしていただけたらなと思います。

○保健福祉課長

そうですね、ここに関しては出産支援ということで次の方のページに記載しています。この中でも(6)ですが、切れ目のない子育て支援ということで、妊娠がわかったところで、母子手帳や出産もしくはその前後の不安な時期に保健師が訪問し、相談にのるということで、ずっと継続して行っております。その中の一環として、この育児支援券をお渡ししています。この中で、封筒の方にもおめでとうございましたということで一言添えるようにいたしております。

○会長

他ございませんか。はいそれでは次に行きます。10 ページです。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標③の 3、子育て支援についてです。こちらの方のページの KPI ですね、上 2 つは第 2 期から引き続き、子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)を令和 6 年度の 43%から令和 10 年度には 45%、子育ての感じ方満足割合(小学生親)を令和 6 年度の 36%

から令和10年度には40%という目標としております。新たに母子手帳アプリ登録者男性割合を、令和6年度の3%から令和10年度には10%としております。子ども家庭センターの設置は、令和6年度の0ヶ所を令和10年度までに1ヶ所としています。具体的な施策に関しては、(1)病児・病後児保育の実施。第2期では利用可能施設の拡充に取り組めますとしていたところを、第3期では利用可能施設の周知に努め、保護者の負担軽減を図ります。と表現を変えています。(2)一時預かり事業等の充実に関しましては、対応する園の拡充というところで引き続き行ってまいります。(3)子育て支援の情報発信強化。町内で実施されている子育て支援事業等の情報を集約し発信することで、白石町の魅力を伝えるとともに、子育て世代の不安の軽減を目指します。こちらは母子手帳アプリの利用促進と情報発信の充実としております。(4)子育てに関するワンストップ相談体制の整備。令和2年1月に子育て世代包括支援センター、令和4年に子供家庭総合支援拠点を保健福祉課内に設置し、相談支援体制を強化しています。令和8年度までには、この双方の機能を担う「子ども家庭センター」を設置し、ワンストップの相談体制を整備します。実施事業として、保健福祉課では令和8年度までに「子ども家庭センター」を設置、障害児に係る相談は長寿社会課や障がい者総合相談支援センターと連携し、必要な支援を行います。学校教育に関して、保健福祉課を拠点とし、双方向での情報共有を行う。相談対応の他、学校からの情報等を支援に繋げるとしてしております。(5)公園施設の充実。白石中央公園、福富マイランド公園、有明スカイパークふれあい郷などの主要公園で、子育て世代の意見を採り入れて、もっと子供が遊びやすく、他市町村からも人が集まるような魅力のある公園整備を行います。実施事業として、遊具施設・休憩所の見直しを検討します。老朽遊具等の撤去、新規遊具等の設置、インクルーシブ遊具の充実、熱中症対策に必要な休憩施設の充実としています。(6)切れ目のない子育て支援の実施。町内のすべての子どもとその家庭を対象に、妊娠期から子育て期にわたり子育て支援機関や医療・福祉の専門機関と連携し、継続的に支援をしていきます。「妊婦相談」から始まり「乳幼児全戸訪問」、「子供の医療費助成」、「子育て相談室」、「保護者、乳幼児の交流の場開設」、「ひとり親家庭への支援」、「小学6年生、中学3年生の給食費無料無償化」、「子どもの貧困対策」などを継続して行います。

○会長

はいそれではご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○委員

この中で、町内外からでも利用できる遊具施設公園等のお話はありましたが、全天候型というか、例えば佐賀市や鹿島市では、屋内で子どもたちが自由に遊べるような場所、もしくは居住地を問わず遊べる児童館的なところは白石町にありますか？もしなかったら、そういうところを検討していただきたいと思います。今元の有明町役場のところにある子育て支援センターのところでは、小さな子供たちは来ていいけれども、そのお兄ちゃんお姉ちゃんになるちょっと大きな子供たちはご遠慮くださいっていうのを聞いたことがあります。今どうなっているかわかりませんが、兄弟で見ている

人に、小さな子供とか分けることはできないと思います。佐賀市のほほえみ館の前にある児童センターの方では、みんなが遊べるようなところがいろんな区域をパーテーションに分けてじゃないですけど、あります。いろんな遊びができます。そういう場所を白石町内に、もしよかったら作っていただけると、自分のところの孫っていうのもありますが、やっぱりお友達は県内にいろいろ点在していますので、その人たちと遊べる場所、みんなと触れ合える場所がお母さんたちにも提供できるのではないかと思いますのでご検討ください。

○生涯学習課長

小さいお子さんから小学生程度のお子さんまで一緒に遊べる屋内施設があったらということですが、確かにそういう施設が今現在は白石町内にございません。今言われました交流館ですね。有明にある交流館のゆめてらすの中に就学前未就学児のお子さんが遊べるスペースはございますが、小学生になったお兄ちゃん、お姉ちゃんまで一緒にということはできないというふうになっています。今後財政が厳しい中、今後の学校の統合あたりも含めて考えていかなければいけないと思っていますところす。

○会長

はい、それでは次、11 ページに行きたいと思います。説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標③の4、教育環境の整備です。まず施策として、教育環境の整備内容としては教育環境を向上させるため中学校に引き続き小学校の再編、整備を行います。実施事業としては小学校再編計画に基づき、有明地域3小学校および白石地域4小学校それぞれ1校に再編する。開校に向けて新しい学校作り準備委員会で具体的事項について協議、決定していくとともに、学校施設の整備を行うとしております。令和8年度有明小学校開校予定、令和12年度白石地域新設小学校開校予定となっております。学校再編に係る施設整備として有明小学校の令和8年開校に向けた旧有明中学校施設の改修、福富小学校の大規模改修、白石地域新設小学校建築工事、白石中学校物質等の改築となっております。(2)コミュニティ・スクールの導入・継続に関しましては第2期から引き続き、推進を行ってまいります。こちらのページのKPIに関しましては、第2期では目標として、町内全小中学校としていましたが、数値で表すことが難しいことから、このページに関するKPIは要検討というところです。

○会長

それではご質問、ご意見等ありましたらお願いします。それでは次の12ページに行きます、説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標④の1、魅力的な地域をつくるとしております。こちらも国の総合戦略、魅力的な地域をつくるという言葉を用いています。1.町民協働によるまちづくり。KPIに関して、地域づくり協議会の設立数を、令和10年度までに累計6か所と文言を

変更しました。また、地域づくり団体設立・活動支援事業の活用件数を、4年間で20件としております。第2期であったNPO法人の設立数は削除しています。具体的な施策として、(1)地域づくり協議会の設立支援、生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する地域づくり協議会の設立を支援します。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促します。事業として、地域づくり協議会設立支援事業。設立に向けた取組支援、設立後の財政支援、フォローアップ、取組地区や職員を対象とした研修、視察等としています。(2)NPO法人・CSO活動の支援。こちらに関しては第2期から引き続き行います。説明は以上です。

○会長

それではただいまの説明について、ご質問、ご意見ございましたらお願いします。それでは次、13ページの説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

基本目標④の2、安全・安心で快適な住みよいまちづくり。KPIとして、自主防災組織の組織率を、令和5年度の44.9%を令和10年度には70%まで引き上げることとします。新たに設けましたKPIとして、住宅浸水対策事業補助件数を、4年間で8件としております。具体的な施策として、(1)自主防災組織の組織化推進。自主防災組織の設立により、自助・共助の取組を推進します。自主防災組織資機材等整備事業の継続、防災講座、研修会を実施します。(2)「自然災害に備える」「快適に暮らす」住まいづくりに関しましては、事業を引き続き継続、推進します。実施事業の建設課の部分で、住宅・建築物耐震改修事業、がけ地近接等危険住宅移転事業のKPIを挙げていませんでしたので、以降の資料は付け加えたいと思います。

○会長

それではご質問、ご意見等ございましたらお願いします。それでは最後になります、14ページについて説明をお願いします。

○白石創生推進係主事

目標④の3、誰もが活躍できるまちづくりについてです。KPIについて、上の2つは第2期からの継続です。健康体操サロン数を、令和6年度の30か所から令和10年度には35か所とします。シルバー人材センター年間登録者数は、5年後に112人としております。新たに設けました講座開催数は、目標開催数の年間20回を年間25回としております。審議会・委員会における女性委員の割合を、令和10年度に40%を目標としています。具体的な施策としまして、(1)生涯現役としての活躍促進。高齢者の住み慣れた地域、家庭での安心した暮らしを支える「支え合い」の地域づくり。高齢者が生きがいを持って充実した生活ができるよう、知識や経験、能力などを生かし、地域活動に参加できる環境づくり。高齢者が自分らしく暮らし続けるための健康づくりや介護予防事業など、高齢者のやりがい、居場所づくりの事業や支援を促進します。通所サービス事業B、介護予防普及啓発事業、シルバー人材センター運営補助金、老人

クラブ活動等社会活動推進事業を実施します。また、別課の事業で、高齢者と区切ることなく誰もが年齢に関わらず活躍し、地域を盛り上げてもらうために起業・創業、文化活動、自分のやりたい仕事ができる場所づくりなどを促進します。事業として、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とし、町民1人ひとりが生涯にわたって自分自身を磨き、豊かな人生を送るための学習講座や体験活動を実施する。また、自然災害に関する「心構え」と知識を備えるため、災害講座と連携した生涯学習講座を実施します。(2)女性活躍の推進に関しては、第2期から引き続き同様に推進を行います。第2期(3)にありました地域団体によるつながり強化は、第3期では(2)の方に統合するよう検討しております。(3)は新設です。スポーツ・健康増進のまち宣言の推進としております。内容として、スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のあるまちを目指します。実施事業としまして、「スポーツ・健康増進のまち宣言」に関する事業、スポーツ大会・教室・講座等各種スポーツ事業、社会体育施設管理、スポーツ人材育成事業としております。

○会長

それではご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

○委員

(1)の実施事業等のところで子供から高齢者まで幅広い世代を対象としてのところの学習講座や体験活動を実施するということですが、具体的な内容を教えてください。

○生涯学習課長

現在四季の講座ということで、いろんな料理教室や、最近行ったのは親子のデイキャンプ体験とかですね。そして夏休みに子どもさんの工作を行いました。大体年間20回やっているってところで、季節に講座を設けております。今回、年間25回まで増やして、ニーズを探りながらですね、マンネリ化しないように講座を今後も行っていきたいというふうに思っています。

○委員

高齢者の方のご経験や知識を生かした講座が開講、例えばろくろ体験とかがあっていたかなと思いますが、そのそういう講座もこれから多く開講されるということでしょうか？高齢者の方が講師になられて、これまでご経験されてこられたことを若い世代の方に伝えるというイメージの講座がこれから増えていくといいなと思っていましたが、そのあたりで今計画されていることがあればと思いお尋ねしました。

○生涯学習課長

今のところ、高齢者の方が得意なところを教えていただくというような講座は行っていないんですが、今おっしゃったとおり、生きがいということで、各高齢者の方の得意分野をお子さんや若い世代に繋ぐという講座もあっているのかなと思っておりまして、その辺りも探っていきたいと思っています。

○会長

それでは一応 14 ページまで一通りご確認をしていただきました。全体的なこと、また聞き忘れたと思うことがありましたらお願いしたいと思います。

○委員

先ほどから出ている高齢者って大体何歳ぐらいからでしょうか。

○長寿社会課長

65 歳からということで定義しております。

○委員

最初に色々なページで出てくる KPI の数値的な根拠がよくわかりません。低く持てれば十分結果が出るし、高くすれば到達しなかったという結果が出てきてしまうので、どういうふうな設定基準で設定されるのかをまず説明いただければと思います。

○総合戦略課長

KPI ですけれども、これはですね、あくまでもストレッチゴールでなければならぬと思います。手を伸ばせば届くところ、そこにおきたいと思いますというところを内部協議の中で各セクションセクションございますので、そのあたりから意見をまとめた上で総合戦略課の方でグループさせていただいて、KPI の目標数値に定めるというような確率はちょっと具体的にですけどそういうことです。

○委員

それと、こんなにたくさん目標掲げてやるのっていう気がします。すみません、私の率直な感想です。

○総合戦略課長

やはり近年、非常に行政需要が増えていますよね。私はやはり役場に入ったときからするとかなり行政需要はもちろん、行政のメニューも増えています。そういう中で、町の抱えている問題点、最重要課題として言っているのが、人口減少問題、そして移住・定住施策を強化していくというところです。先ほど人口ビジョンの方を示していますが、この通りストレッチゴールで 100 人、移住・定住の人間を加えていかないととても成り立っていかない地域というのが当然出てくるわけですよね。それを解消していくためには、やはりあらゆる行政課題を解決するためにこの事業が必要というふうに考えております。

○委員

先ほど町の予算も限られているという話があったので、もう絞ってやるべきじゃないかという私の感想の 1 つでございますので、参考にしていただければと思います。あと、PDCA サイクルというものがありますよね。プランから始まってチェック、アクションですか。これまでの会議で、チェックまで入っていますよね。先々月行ったチェックが今回のアクションに繋がっているかちょっと疑問に感じるところがあります。

す。先ほどもそういう話をされたと思います。KPI が低い値に対してどうするかというのは、明確に書いてあるところもあれば何も対策が行われてないところもあります。例えば、なぜ KPI が十分達成できなかった理由が検証されてない気がします。全体を通して、これは何か違うのではというのがいくつかありました。また、支援を受ける側の要求と、支援をする側にズレがある部分があるのではないかという気がします。こういうのが欲しいのにない。だけでも欲しくないのにある。というのがあってではないかと思います。そういう提供側とユーザー側の乖離があるのかあるのではないかと。支援してあげているっていうような感じがあります。例えば先ほど 4,000 円って話ありましたよね。それが一番乖離しているのではないかと思います。あと、検討する、とか支援する、とかいうものが結構ありましたが、こういった予算案等を書くときに検討するっていう言葉を書いてはいけなくとよく言われます。「検討する」と書くのと、結果として「検討した」としか書かないから。ですから、～を行う、とか～する、とかいった方が私としては積極性があるなって気がします。これも私の意見です。最後ですが、7 ページですね。右側の B の中の実施事項等のところの「須古城跡の国史跡化に向けて」が、一番具体的に書いてあるなと思いました。事業の内容として、多分皆さんものすごく大変な時間にたくさんの項目を書かれて大変だというのはよくわかりますが、こういったふうに具体的な内容というものがあっていいなというふうに思いました。というのが私の感想です。お答えは不要です。

○会長

先ほどのご意見については、また検討いただければと思います。

○生活環境課長

1 点修正です。6 ページの(3)生活排水処理施設の整備の促進の部分で、担当係が下水整備係、下水庶務係、下水管理係となっていますが、現在は統合して下水施設係となっています。修正をお願いします。

○会長

本日は本当に様々なご意見をいただきました。本日の会議を踏まえ、再度庁舎内で検討を進めたいと思います。次回の会議では第 3 期総合戦略と、人口ビジョンの素案をお出ししたいということで計画しております。次回もどうぞよろしくお願いしたいと思います。それでは以上で 3 番の協議事項の方を終わりたいと思います。この進行事務局へお返しします。

○総合戦略課長

それではその他の項です。3 回目の会議ですけれども、11 月の中旬頃を予定しております。計画策定までに 4 回の会議を予定しているところですが、3 回目の会議といたしまして 11 月ですね、会場の都合でいうと 12、13 日がベストかなと思っております。時間につきましては前回希望をとらせていただきましたけれども皆様方 19 時というご意見をいただいておりますが、どうしましょうか。次回の会議ですけども先ほどお話ありましたように第 3 期の総合戦略と人口ビジョンの素案を示させていただ

きたいと思っております。まず日程は、事務局案といたしまして、11月13日(水)になりますけれども、いかがでしょうか？19時からということになりますけど、よいでしょうか。それでは11月13日(水)19時ということでお願いしたいと思います。日程はこれで決定でございますけれども、本日会議の中でまだちょっと言わないといけないことがあったとか、ご提案とか疑問点ございましたら、いつでも結構ですので事務局の方までご連絡ください。これは電話でもメールでも結構でございますし、次回の会議の折にご意見いただいても構わないかと思っております。こちらの方からは以上でございます。最後に皆様方の方から何かございましたらお伺いいたしますけれども、よろしいでしょうか？次回はなるべく素案をまとめ、資料を送らせていただければと思っております。それでは他にございませんようですので、これをもちまして令和6年度第2回白石町まち・ひと・しごと創生推進会議を閉会します。本日は長時間にわたってご協議いただきまして、誠にありがとうございました。お疲れ様でした。